

吉川高広税理士事務所プレゼンツ 男子プロボウリングトーナメント2024

8名によるラウンドロビン対戦表（第Ⅰグループ）

ROUND	9 L - 10 L	11 L - 12 L	13 L - 14 L	15 L - 16 L
1	森本 健太 vs 高田 浩規	小原 照之 vs 江川 司	斉藤 征哉 vs 小林 哲也	藤永 北斗 vs 斉藤 琢哉
2	小林 哲也 vs 斉藤 琢哉	斉藤 征哉 vs 藤永 北斗	高田 浩規 vs 江川 司	森本 健太 vs 小原 照之
3	斉藤 征哉 vs 江川 司	森本 健太 vs 斉藤 琢哉	藤永 北斗 vs 小原 照之	高田 浩規 vs 小林 哲也
4	小原 照之 vs 小林 哲也	藤永 北斗 vs 高田 浩規	森本 健太 vs 斉藤 征哉	斉藤 琢哉 vs 江川 司
5	藤永 北斗 vs 森本 健太	江川 司 vs 小林 哲也	小原 照之 vs 斉藤 琢哉	斉藤 征哉 vs 高田 浩規
6	高田 浩規 vs 小原 照之	斉藤 琢哉 vs 斉藤 征哉	江川 司 vs 森本 健太	小林 哲也 vs 藤永 北斗
7	江川 司 vs 藤永 北斗	小林 哲也 vs 森本 健太	斉藤 琢哉 vs 高田 浩規	小原 照之 vs 斉藤 征哉

8名によるラウンドロビン対戦表（第Ⅱグループ）

ROUND	21 L - 22 L	23 L - 24 L	25 L - 26 L	27 L - 28 L
1	山本 勲 vs 斉藤 祐哉	永野すばる vs 田中 義一	内藤慎之介 vs 堀ノ内智大	甘糟 翔太 vs 大久保雄矢
2	堀ノ内智大 vs 大久保雄矢	内藤慎之介 vs 甘糟 翔太	斉藤 祐哉 vs 田中 義一	山本 勲 vs 永野すばる
3	内藤慎之介 vs 田中 義一	山本 勲 vs 大久保雄矢	甘糟 翔太 vs 永野すばる	斉藤 祐哉 vs 堀ノ内智大
4	永野すばる vs 堀ノ内智大	甘糟 翔太 vs 斉藤 祐哉	山本 勲 vs 内藤慎之介	大久保雄矢 vs 田中 義一
5	甘糟 翔太 vs 山本 勲	田中 義一 vs 堀ノ内智大	永野すばる vs 大久保雄矢	内藤慎之介 vs 斉藤 祐哉
6	斉藤 祐哉 vs 永野すばる	大久保雄矢 vs 内藤慎之介	田中 義一 vs 山本 勲	堀ノ内智大 vs 甘糟 翔太
7	田中 義一 vs 甘糟 翔太	堀ノ内智大 vs 山本 勲	大久保雄矢 vs 斉藤 祐哉	永野すばる vs 内藤慎之介

■ ラウンドロビン方式（総当たりボーナスポイント方式）の説明

今回、予選・準決勝を勝ち抜いてきた上位16名が、第Ⅰグループ8名及び第Ⅱグループ8名に分かれ、各グループ内にて総当たり1回戦7ゲームを投球し、各グループ合わせた16名のトータルポイントにて上位4名を決勝ステップラダーへ選出します。

一人の選手が他の7名の選手と1ゲームマッチで、そのつど勝敗を決めていく方法で、ちょうど駒鳥が木々の枝から枝へと飛び廻る姿から、“ラウンドロビン”の名称がつけられたとされています。

この方式は、200点を基準とし、1ピンが1ポイントとして計算されるシステムです。200点を基準に上下のピン差でプラス点・マイナス点が出され、これに定められた勝ち点30ポイント（ボーナスポイント）が勝者に得点されていくものです。

例えば、A選手とB選手が戦い、A選手が220点・B選手が190点でA選手が勝った場合、勝者には定められた30ポイントと200点をオーバーした20ピン（ポイント）が加算され、50ポイントがA選手のポイントとなります。B選手は200点に達しなくまた敗れたので、200マイナス10となり、A選手のプラス50に対してB選手は、マイナス10とその差は大きく開いてしまいます。

またC選手とD選手が戦い、C選手が215点・D選手が220点でD選手が勝った場合、D選手はプラス50、C選手はプラス15となります。またE選手とF選手が戦い、E選手が198点・F選手が180点でE選手が勝った場合、E選手はプラス28・F選手はマイナス20となります。

尚、同ピンで引き分けの場合は、両者に15ポイントが与えられます。

そして総当たり1回戦7ゲームが終わった時点で、各グループ合わせた総トータルポイント順にて上位4名が決勝ステップラダー進出となります。

このように1ゲーム、1ゲームが大事な勝負となります。A選手は何勝何敗か？

ポイントはどのくらい稼いでいるのか？プロの熱い戦いに期待して下さい！！

■ 決勝ステップラダー方式（4名によるステップラダー方式）

上位4名にて、順位ごとの対戦で勝つごとに順位を上げていく試合方法。

